第 466 回 三水会便り <平成 30 年 7 月>

☆第 651 回例会

日 時：6 月 20 日（水） 18:30～20:00

場 所：山岳会会議室

参加者：森武昭（演者）、石原康生、掛江正道、勝田房治、川島新太郎、小泉義彦、佐藤正樹、塩澤厚、武田幸男、豊田茂、長岡正利、新村貞男、長谷川公子、牧野忠男、古市進、増田達治、吉田正隆 以上 17 名。

元 JAC 会長の森武昭会員から「山岳地域の自然エネルギー利用のその後（わが国のエネルギー事情を含めて）」のお話。上高地の「山研」に設置した小規模水力発電装置を例に、沢からの水の取入れ口の工夫が一番の要点、取入れ口の清掃に常駐の管理人が必要のことなど。穂高岳山荘を例に山小屋での太陽光発電は極めて有用であること、それに反して、風力発電は電力の安定性に欠けるため殆ど使用されていない由。我国のエネルギーは、火力発電 50%、原子力 25%、水力、太陽光などの自然エネルギー 25% が基本であるが、福島事故以来、原子力のぶんを火力で補っている現状である。今後は、廃棄物や環境問題から原発は勿論、大規模ダムの新設は困難なので、各地域での例えば農業用水利用による小規模水力発電とか、太陽光発電それに火力発電を組み合わせた地域発電構想が極めて有用との講師のご提案であった。この講話後、長岡正利会員より昨年 5 月の講話の追加として、立山信仰の布橋灌頂会と白山信仰について約 15 分の説明があった。

係：塩澤 厚

>☆第 652 回例会は、7 月 18 日（水）、長岡正利会員より「ロシア・カムチャツカの自然と登山、現地の素晴らしい人たち一附：その探検史と地図で見る明治以降日本の北方進出の歴史」というお話を伺います。多数の方のご出席をお待ちしております。

係：塩澤 厚

★三水会山行

☆5 月現地集会は 31 日～6 月 2 日、湖国で行った。長浜から遊覧船で竹生島を経て西の今津に渡り、比叡山を護る坂本・日吉大社に参拝、自然石を積んだ穴太の石垣の美しさを楽しんだ。翌日は三井寺～近江神宮～石山寺～瀬田唐橋を 2 万 6000 歩で踏破した。京都・奈良トレイルの延長だ。最終日は自由行動。信長の命日にあたる。有志で安土城跡に登った。参加者 13 人／北口、児島、下野夫妻、高木、高橋（重）夫妻、高橋（満）、田中、増田、村山、山口、富澤（緑爽会）。

係：高橋重之、北口マリ子

☆6 月山行報告 西丹沢不老山（928m）

駿河小山駅より明神峠までタクシーを利用し、峠からはブナの大木のある森を湯船山、白クラノ頭と進み、展望に良い「樹下の 2 人」で昼食にした。千葉の群発地震の話などしながら不老山山頂に到着。金時神社への下山路は、歩きやすく、駿河小山駅までゆっくり 7 時間の周回コースであった。サンショウバラは、名残の数輪であったが、ハクウソボク、ガマズミなどの白い花が美しかった。本掲示板参照ください。参加者 5 名。

係：高橋あかね

★お知らせ

> ☆8月例会はお休みですが、8月4日(土) 13:00より第28回「野美の市懇談会」を催します。珍しい出品物をお持ちの方、そうでない方、或いはゲストの方も軽い気持ちで、暑気払いのためにどうぞお集まり下さい。

係：勝田房治